

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

| | |
|----------|---|
| P T A名 | 静岡県立天竜特別支援学校 P T A |
| 学 校 名 | 静岡県立天竜特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input checked="" type="checkbox"/> 病弱 |
| 設 置 部 | <input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部 |
| 全校児童・生徒数 | 77人 |

1. 使用状況

| | |
|---------------|--|
| 寄贈物品名 | 卓球台 |
| 使用学年及び人数 | 小学部1年生から6年生 10人 |
| 使用頻度 | 毎日 |
| 使用状況 | 休み時間に児童が過ごす「わんぱくホール」に設置している。児童たちは戸外で遊ぶことはほとんどないため、毎日、授業の合間の休み時間に卓球台に集まり、卓球を楽しんでいる。 |
| 物品の使用による変化や効果 | これまで使っていた卓球台は、使用に直接影響はないが故障している部分があり、安全性が心配されていたが、新しいものになりその心配がなくなった。また、ネットも新しいものになり、教師が手伝わなくても児童たちで調節ができるようになった。 「スズキ様から寄贈された卓球台だから、大切に使いましょう。」と指導している。児童たちの中にも「大切に使おう」という意識が芽生えているように感じる。 |
| 今後の活用の見通しや課題 | 今後も引き続き休み時間に楽しむために活用していく。 |
| その他希望や所感など | 児童たちが楽しめる卓球台を寄贈していただき、ありがとうございました。今後も活用していきたいと思えます。 |

2. 活用の様子



低学年は、朝の時間にも卓球をします。卓球がやりたくて、朝の支度が早く終わるように頑張ります。

待っている子は、白い線の外側で、丸いマットの上で順番を待ちます。

高学年は、休み時間に卓球をします。待っている間にスイングの練習。



高学年になると、かなりハイレベルな戦い。待っている子は、友達のパレーを見守ります。